

鹿児島県 灰カルチャー 紹介冊子



鹿児島県灰カルチャー紹介冊子

Hi! Culture



発行元 鹿児島大学 法文学部 地域社会コース 井原ゼミ © 2026

Hi! Culture

火山灰が育てた

火山灰が育てた
ユニークな鹿児島ライフ



TAKE FREE



火山灰が育てた ユニークな鹿児島ライフ

桜島の火山灰——

それは、鹿児島の人びとの暮らしに寄り添い続けてきた、

少しやっかいで、でもどこか愛すべき存在。

洗濯物に降りかかったり、車を灰色に染めたり、

時には目に入ったりすることもあるけれど、

この灰なしでは語れない鹿児島らしさがあります。

そんな日常の中で、いつしか人々は灰を「不便」ではなく、

「文化」や「素材」へと変えてきました。灰で描くアート、

灰をヒントにしたグッズ、灰が育む農産物、そして灰とともに

生きる知恵。——灰は、鹿児島の暮らしの中で、

静かに、そして確かに息づいています。

この冊子では、桜島と灰の基礎から始まり、アートやグッズ、

特産品、観光、暮らし、そして防災まで、

「灰カルチャー」の魅力と可能性をたっぷりご紹介します。

灰をめぐる旅へ、ようこそ。

あなたの灰のイメージが、きっと変わります。



CONTENTS

1. 【桜島と灰の概要】灰ってなに？ 桜島と火山灰の基本知識・・・03
2. 【アーティスト紹介】灰で描くアートの世界・・・05
3. 【グッズ紹介】使える！ 飾れる！ 灰プロダクト最前線・・・07
4. 【特産品紹介(工芸)】火山灰が育む、鹿児島のクラフト・・・09
5. 【特産品紹介(農産物)】灰の恵み、鹿児島の大地から・・・11
6. 【観光スポット紹介】見て、作って、感じる！ 灰体験スポット・・・13
7. 【灰あるある、灰のある生活】灰とともに生きるということ・・・15
8. 【防災・あとがき】共に生きる桜島、そして未来へ & あとがき・・・17

灰ってなに？ 桜島と火山灰の基本知識



桜島の誕生

かつて陸続きだった大隅半島と薩摩半島の間では300万年前から巨大噴火が繰り返されていた。約2万9000年前の大爆発によって地下の空洞が崩れ、陥没してカルデラが形成された。そのカルデラに海水が流れ込んで錦江湾が生まれ、以降も継続的な噴火を続けながら、現在の桜島という島が少しずつ形づくられていった。



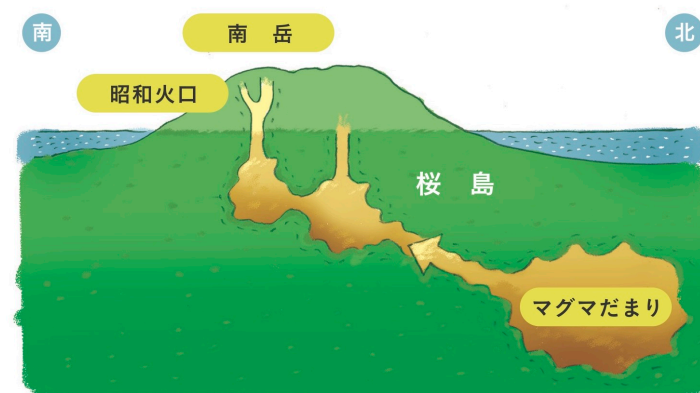
火山灰ってなに…？

火山灰と聞くとつい燃え切ったあとの殻のようなものを想像しがちだが、見た目は「灰」でも、実際には細かいガラス質の鉱物や岩石の破片である。桜島のような活発な火山では、毎日の噴火で日常的に灰が降るため、地域の生活に大きな影響を与えている。

桜島火山灰の特徴

- ガラス質で非常に細かい粒子
- 粒が角ばっていて、ざらざらしている
- 軽く、大量に降る
- カリウムなどのミネラルを含む

桜島の火山灰は粒がとて細かく軽いため、一度舞い上がるとしばらく空中を漂い、広い範囲に降ることがある。また、粒子の表面が角ばっていることから、道路が滑りやすくなったり、洗濯物や車に付着すると落としにくかったり、日常のさまざまな場面で影響が出やすい。



どうやってできるの…？

南岳の火口底にあるマグマの中に溶け込んでいるガス(水蒸気、二酸化炭素など)が圧力を高め、耐えきれなくなったときに破裂を起こす。その爆発によってマグマは空中に吹き飛ばされ、高温のまま急激に冷やされることで、ガラス質の細かな粒子となり、火山灰として降り注ぐ。噴火の様式(噴煙の高さ、爆発の強さ)によっても灰の量や飛ぶ範囲が変わる。

どこに飛ぶの…？

降る地域は風向きで変化するため、東風が強まる夏は、鹿児島市側へ、西風が強まる冬は、垂水・鹿児島市側へ飛びやすいといわれている。春秋は風向きが変わりやすいため、降灰地域もバラバラである。



もっと詳しく知りたい人のために /

桜島! まるごと絵本【新装版】

B5判・オールカラー・上製・55頁

ISBN: 978-4-907597-19-1

1,760円(税込)

燦燦舎 (<https://san-san-sha.com>)

火山灰のひみつ

灰で描くアートの世界

火山灰アーティスト・植村さんにインタビュー！



火山灰アートを始めたきっかけを教えてください。

桜島に桜島ビジターセンターという博物館があるんですけど、そこで働いてる時に熊本地震が起こってしまって(2016年4月)。熊本には阿蘇ジオパークというビジターセンターがあって、阿蘇も桜島も活火山があるという共通点があることからよく連絡を取る仲だったので、復興のために募金をするようになったのですが、ビジターセンターで募金を募っているということの告知を鹿児島らしいもので、ビジュアル的にできないかなと考えていました。そんな時に、朝、毎日玄関を掃除するときに山のようになっていた灰があったので、それを手で握ってみて、そこから灰を使って描けばいいんじゃないと思ったのがきっかけです。

灰でどうやって絵を描いているのですか？ 修正は効くのですか？

キャンバス全面に木工用ボンドを水で溶いたものを塗り、その上から灰を落として指で描いています。灰は水をかけながらたわしてこすると修正できます。油画や水彩画は一回描いてしまうと消すのは難しいですが、灰は水で取り除くことができるのでいつでも修正可能なのが特徴の一つだと思います。

下書きはするのですか？

下書きはせず、ぶっつけ本番です。というのも、「誰でも気軽にできたらいいな」と思っていて、鹿児島なら灰はどこにでもありますし、特別な道具や準備もいらないからです。それに、灰は消したり直したりできるのがいいところで、まずは描いてみて、「ちがうな」と思ったらその場でどんどん修正していく、そんなスタイルで描いています。

絵を描くときは何かを見ながら描いているのですか？ 想像ですか？

対象の写真を撮って、実際に描く対象を見たり触れたりしたうえで、その感覚を思い出しながら描いています。

灰は使い分けたりしているのですか？

描く題材によって粒の大きさに使い分けていて、粒を密集させるのか散らばらせるのかで厚みやグラデーションの調整をしています。



灰はどうやって手に入れているのですか？

桜島まで取りに行っています。火口からの距離によって、落ちてくる灰の粒の大きさがまったく違うので、今日はどこに行こうかなと考えながら採集しています。ク灰袋いっぱい集めてくると、だいたい一年分くらいはもちます。

これから描きたい物がありますか？

生き物とか花とか、動きがあったり、命があるものを描けたらいいなと思っています。

今後予定しているイベントはありますか？

ワークショップとか講座とか、皆さんに実際に灰に触ってもらえるような体験ができたらいいなと思っています。まだ活動はしていないんですが、例えば、盲学校の方たちのような目が見えない方でも触って楽しめるようなワークショップができたらいいなと考えています。以前、実際に目が見えない方とお話しする機会があって。「私、灰で絵描いてるんです」って言ったら、見たいですってくださったので、「作品は触っても大丈夫だから触ってみてください」って言ったら、すごく喜んでくださって。それから、触ってもらえる絵画展みたいなのはすごくいいなと考えています。

灰に対してどういう感情を持っていますか？

正直なところ、今でも少し厄介だなと感じることはあります。自分に付くと嫌だなと思うこともあります。でも、絵を描くという視点で見ると違ってからは、灰の粒の細かさや質感の違いを感じるようになりました。

「灰カルチャー」についてどう考えていますか？

灰カルチャーについては、もっと使えることがあるんじゃないかなと思っています。だから、火山灰で絵を描くという活動を続けてるっていうのもあります。私が絵を描いているのを見て、「あの人、画材に灰を使ってるじゃん、それなら他にも使えることがあるんじゃないかな」と思う人が増えたらいいなと思っています。最近は灰を使ったアクセサリーなんかも出てきてますが、まだまだ他にも使えるものがあるんじゃないかなと思うので、これからもっと広がってほしいなって感じています。



火山灰アーティスト—植村恭子さん
1983年生まれ Instagram: @hi_kyoko

使える！飾れる！灰プロダクト最前線

デザイン × ユーモア × 火山灰

克灰袋って何？

桜島の火山灰を集めるために、鹿児島市が無料で配布している専用のゴミ袋です。「灰に打ち克つ」という積極的な意味を込め「克灰袋(こくはいぶくろ)」と名付けられました。集めた灰は指定の場所に出すと、無料で回収されます。

AIKAGOって何？

AIKAGO(アイカゴ)は「愛かごしまプロジェクト」の略称。鹿児島の文化や歴史を、もっと県外・海外の人たちに知ってほしい——そんな思いから生まれた、鹿児島発のオリジナル商品ブランドです。なかでも人気ののが、「克灰袋」をモチーフにしたユニークなシリーズ。文具やTシャツ、トートバッグ、さらに桜島溶岩を入れた巾着袋まで、日常でさりげなく鹿児島らしさを楽しめるアイテムがそろっています。商品はオンラインショップ(<https://aikago.base.shop>)で購入できます。



克灰袋Tシャツ
¥2,200

克灰袋
トートバッグ
¥1,870

克灰袋
デザイン文具
¥1,100

克灰袋
¥660

まだまだある灰グッズ

さくらじまいろ

桜島の火山灰を顔料にしてハンドメイドで作られた絵の具、その名も「さくらじまいろ」。手作りのため少しざらざらとした質感が特徴。¥1,100(桜島ビジターセンター・ミュージアムショップ TEL: 099-293-2443)



桜島灰ドーム

鹿児島のシンボル「桜島」の噴火をモチーフにしたスノードームならぬ灰ドーム！ころんとした小さなドームの中で火山灰を模した黒いパウダーがキラキラと光る様子に思わず見惚れてしまいます。ちょっとした贈り物や記念品にもおすすめです！歴史資料センター「黎明館」限定のバージョンもあります。※写真は通常盤。¥880(黎明館IFチンジュカンボタリー喫茶室 TEL: 099-295-3588)

ハイ! どうぞ!!

市役所屋上や廃校・休校となった小中学校の屋上から採取した不純物のない灰を利用。原材料名は「桜島の降灰、垂水市民の苦悩」、内容量は「ありがたくない、空からの恵み100cc」。¥110(道の駅たるみず湯つり館 TEL: 0994-34-2237、道の駅たるみずはまびら TEL: 0994-45-5727)

桜島つばきネイルオイル 7ml

保湿力の高い「桜島の生搾り精油 ユアプレミアム」に、「桜島こみかん精油」を合わせた、桜島ならではのネイルオイル。使いやすい刷毛タイプのボトルで、爪や甘皮のケアにぴったり。毎日のハンドケアに、桜島の恵みをひとしずく。
¥2,420(SAKURAJIMA TSUBAKI <https://sakurajimatsubaki.com>)



桜島 MOKMOKティッシュケース

取り出したティッシュが桜島の噴煙のように見える、遊び心たっぷりのティッシュケース。ティッシュを取り出すたびに桜島の形がふんわり浮かび上がるよう、細部まで丁寧に調整されています。カラーは朝日や白霞、晴天、夕焼け、月夜、ドカ灰など、桜島のさまざまな表情をイメージしたラインナップ。インテリアになじみやすく、使うたびにちょっとした楽しさが生まれます。鹿児島を離れる家族や友人への贈り物にも最適な、桜島愛あふれるアイテムです。Mサイズ ¥2,310(株式会社M4210 <https://m4210.com/>)



※価格は卸値のため、販売先によっては、価格が異なる場合があります。

灰から彩る工芸品

火山灰土は、工業的にも工芸的にも多彩に活躍しています。壁材として使えば消臭・調湿・抗菌に優れ、コンクリートに混ぜればCO₂を減らせる耐久性の高い素材になります。こうした幅広い用途の中で、特に魅力を発揮しているのが工芸の世界です。火山灰の粒の細かさやガラス質の質感は、表現に独自の風合いをもたらし、鹿児島ならではの素材として親しまれています。今回はその中から、灰を生かした三つの工芸品をご紹介します。



桜岳陶芸

自然にある素材を活かし、あるがままの美しさを引き出す。

桜岳陶芸(おうがくとうげい)独自の桜島焼は、火山灰を素材にした手仕事の器。どれも世界にただ一つの表情をもち、黒が際立つ皿から、青い薔薇が咲く花瓶まで、日々の暮らしに寄り添う魅力にあふれています。使うたびにほっとするような安心感を届けたい——作品にはそんな想いが込められています。なかでも注目の「銀彩」をまとった器。偶然が生むきらめきは、まさに自然そのものの輝きです。ぜひ実物を手に取り、自分の感性にぴたりとくる一品を探してみてください。

[住所] 鹿児島市桜島赤水町1360 [TEL] 099-293-3939

[Mail] info@ougaku.com [HP] <https://www.ougaku.com>



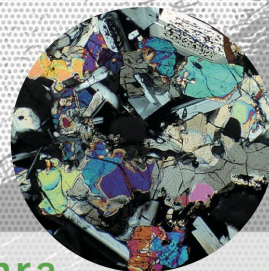
tephra

桜島の降らせてくれた宝石が、特別な想いをそっと飾る。

ジュエリーブランドtephra(テフラ)は、「顕微鏡の向こうに広がる溶岩薄片の世界をかたちにしたい」という想いから生まれました。ブランド名のtephraはギリシャ語で「火山噴出物」を意味し、桜島の灰には宝石の元となる鉱物が含まれています。「鹿児島は空から宝石が降ってくる」というコンセプトのもと、灰やラメ、ホログラムを樹脂に閉じ込め、岩石薄片のような美しいチャームを作り出しています。鮮やかな色合いと軽やかなデザインは、普段の装いにも自然と馴染みます。小ぶりでシンプルなイヤリングやピアスは特に人気で、すべて丁寧な手作業による一点ものです。「子育て中の母親でも、社会とかかわり、貢献できることを示したいんです」と久木田さん。桜島がもたらす「宝石」は、あなたの日常に小さな輝きを添えてくれます。

[Instagram] tephra.kagoshima [HP] <https://tephra7.base.shop>

※現在休業中 2026年5月～販売再開予定



至白

吉田の地から採れる大地の至宝。

至白(しはく)は鹿児島島の自然が育んだ「吉田シラス」を使ってつくられた石鹸です。主成分のシリカ(ケイ素)は、肌の余分な皮脂や汚れを吸着しながら、なめらかな洗い上がりをもたらすミネラルで、この火山灰白土にはそのシリカが77%も含まれています。

粒が非常に細かく、汚れを吸着し、肌を健やかに整えてくれます。主要成分はシリカとココナッツオイルというシンプルな処方で、素材の力がまっすぐに生きた一品です。2024年には、「日本VEGAN認証協会」に認定された洗顔石鹸「VEGAN至白」も誕生しました。鹿児島という地を、より広く、そして世界へ——そんな願いが込められています。

[製造販売元] 株式会社 日本衛生センター 鹿児島支社 シラス(地質)事業開発部 [TEL] 0120-202-208 (Free call) [受付時間] 8:30~17:30 [定休日] 土曜・日曜・祝日 [HP] <https://shihaku.jp>



桜島大根

一般的な大根の数倍の大きさや丸い形が特徴的です。甘みがあり、煮崩れしにくいので冬の煮物料理で大活躍！ カットされたものも販売されているので、「使い切れない」という心配もありません。切り干し大根や漬物といった加工品も人気商品です。

収穫時期 12月～2月



灰の恵み、鹿児島 島の大地から 自然の力とともに

火山活動によって生まれた溶岩や火山灰を含んだ土壌を生かし、ここでしか出会えない特産品が数多くつくられています。火山が生んだ大地の力が桜島の大きな魅力であり、その恵みを受けて育った作物や加工品は、土地の個性をまっすぐに映し出しています。桜島だからこそ生まれる味わいを、ぜひ感じてみてください。

桜島小みかん

小粒で香りが強いのが桜島小みかんの一番の特徴です。地元住民にも愛されており、贈答用としても人気を博しています。果物としてはもちろん、果皮を加えたうどんやドレッシング、天塩、スパイスなど、「さくらじま旬彩館」で加工された商品も多数販売されています。特に100%ジュースは数に限りがあるので要チェック！

収穫時期 11月～12月



桜島ひじき

海に自生するひじきを天日干して仕上げた商品で、豊かな香りとしっかりした歯ごたえが特徴的です。全国にファンがいる大人気商品で、ハンバーグやコロッケの具材としても使える万能食材！ 一度食べればその風味に惹きつけられること間違いありません。



桜島椿油

桜島に群生しているヤブツバキの種を絞った上質な椿油です。食用椿油は素材の味を引き立てる万能オイルで、炒め物や揚げ物に使えます。小瓶のものはちょっとしたお土産にもピッタリ。近年は暖冬で収穫量が減少しているため、より特別感のある商品として注目されています。



道の駅「桜島」 火の島めぐみ館について

このページで紹介した商品はすべて道の駅「桜島」火の島めぐみ館で購入可能です。

詳細は次ページをご覧ください。

桜島ビジターセンター

活火山・桜島のことがもっと好きになる「火山のミニ博物館」。桜島の歴史や自然を楽しく学べて、知れば知るほど新しい発見があります。火山ならではのグッズを集めたミュージアムショップやクロスバイクのレンタル、天然温泉を掘るためのキットの販売もあります！

【営業時間】9:00～17:00 【休館日】年中無休
【アクセス】桜島フェリーターミナルから徒歩約10分 【入館料】無料



見て、作って、感じる！ 灰体験スポット

五感で楽しむ灰の旅



道の駅「桜島」 火の島めぐみ館

活火山・桜島の恵みを気軽に楽しめるスポットです。桜島大根や小みかんなどの特産品が並ぶショップに加え、桜島産の食材を使った料理が味わえるレストランも併設。周辺には展望所や公園もあり、桜島の自然や景観を気軽に満喫できます。

【営業時間】9:00～17:00
【休館日】毎月第3月曜日
【アクセス】桜島港フェリーターミナルから徒歩5～10分

自分でつくる、触れて感じる島の思い出



桜岳陶芸 火山灰アート体験

桜島焼の窯元・桜岳陶芸では、桜島の火山灰を使ったサンドアートづくりが体験できます。色とりどりの火山灰を自由に組み合わせ、世界に一つだけの作品を作れるのが魅力です。完成した作品はそのまま持ち帰ることができ、旅の思い出やお土産として人気があります。

【体験時間】①10:00～ ②13:30～
【営業時間】9:00～17:00
【アクセス】桜島フェリーターミナルから桜島周遊バス「サクラジマアイランドビュー」で「赤水麓」下車徒歩1分
【体験料金】LL size 2,200円、L size 1,980円
【TEL(予約)】099-293-3939



サンドアートの原材料として使われています。



店主からの一言

「火山灰で絵を描くのは、誰もが初めての体験！触るだけでも普段できないことから、自然をぐっと身近に感じられます。完成した絵は思い出としてずっと残せます。」



灰とともに生きるということ

#灰あるある、灰のある生活

思わず頷いてしまう。鹿児島ならではの
火山灰に関する「あるある」をSNS風に集めました！



つけあげ@fried_fish_cakes
灰灰FIGHT！
何回噴火しても立ち上がれ

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



Ash_Kagoshima @ash_kagoshima
外出た瞬間、硫黄のにおいがするとしたら桜島噴火してた



↺ ↻ 📌



釣り日記 @wazze_tuureta
灰やば



くろぶた@blackpig
火山灰で窓が開けられない…
#灰のある生活 #あるある

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



新米 @newrice
3度の飯より桜



Kadai_Students@kadai_students
IッIッ！桜島が噴火したって伝えなきゃ！
#桜島 #噴火



↺ ↻ 📌



かごしまカフェ@kgs_m_cafe
桜島に売ってる降灰ソフトクリームおいしすぎー！！



♡ 💬 ↺ ↻ 📌



桜島の呼吸 壱ノ型 大噴
#灰柱

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



桜島大好き@sakurajima_fan
やばい。今日の桜島のビジュ良すぎる🌟
#桜島



♡ 💬 ↺ ↻ 📌



鹿太太郎@tarodesu2025
せっかく車🚗を洗車🚿したんだけどネ〜😭
直後に灰が降ってきてビックリだよ😱!!!
降灰予報はね、毎日チェックしておかないと



♡ 💬 ↺ ↻ 📌



西郷隆盛@tuntun0123
火山灰で目が痛すぎる😭外出キャンセル界限
#灰がある生活 #キャンセル界限

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



美容垢@sarasarahair
火山灰で髪の毛キシキシすぎて滅🔴
#灰のある生活 #あるある

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



ちあ@fre_fre
桜島・錦江湾
たのは大寺聯

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



電車マニア@i.love.train
鹿児島の克灰袋が可愛すぎる件。
#克灰袋



↺ ↻ 📌

♡ 💬 ↺ ↻ 📌



さつつん@sattun_siro
桜島の街灯がかわいい♡



♡ 💬 ↺ ↻ 📌



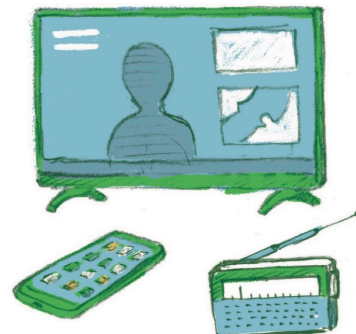
共に生きる桜島、そして未来へ

大規模噴火に備えて

桜島で大規模噴火が起きた場合、市民に求められる行動は、大きく「事前の準備」と「避難行動」に分けられます。日頃からの備えが、いざという時の安全につながります。

① 事前の準備と情報収集

まず重要なのが、正確な情報を確実に受け取る体制づくりです。テレビやラジオ、スマートフォンなど、防災情報の入手手段を複数確保しておきましょう。また、避難生活が長引く可能性もあるため、非常食や飲料水、常備薬などは最低3日分、できれば1週間分の備蓄が望めます。大規模噴火では強い地震が発生する可能性があり、影響は桜島だけでなく鹿児島市街地にも及ぶことがあります。ハザードマップを確認し、家族や地域で避難先や集合場所を話し合っておくことも大切です。



② 噴火前の避難行動

気象台や鹿児島市からの情報に注意し、噴火が始まる前に早めの避難を心がけましょう。降灰予報を確認し、できるだけ灰の影響が少ない地域へ移動します。自家用車を使う場合は渋滞を避けるため、1世帯1台を目安に。駅の近くに住んでいる人は、JRなど公共交通機関の利用も有効です。



③ 噴火開始後・避難が遅れた場合

万が一突然噴火が始まった場合や、避難が間に合わなかった場合は、無理に移動せず、頑丈な建物の中に退避してください。命を守る行動を最優先にすることが重要です。



非常持出品の準備をしておこう

- ☐ ヘルメット ☐ マスク ☐ ゴーグル ☐ 携帯電話
- ☐ 充電器 ☐ モバイルバッテリー ☐ 懐中電灯
- ☐ 予備の電池 ☐ 薬 ☐ お薬手帳 ☐ 食料品
- ☐ 飲料水 ☐ 貴重品 ☐ 着替え ☐ 携帯用トイレなど



万が一の大噴火に慌てないために

- ・気象台が発表する火山情報に注意
- ・市からの避難情報（避難指示など）に従う
- ・テレビやラジオ、防災無線などから正しい情報を得る
- ・デマやうわさにまどわされない

参考資料

桜島火山防災意識啓発映像「知る・備える・行動する“桜島の大規模噴火”～その時、あなたはどうか動く？～」(鹿児島市) <https://youtu.be/amltpK9Yr-4?si=fjJZCZox5z6foxtq>
 火山防災教育教材「みんなで学ぼう桜島火山防災」(鹿児島市)
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikikanri/kurashi/bosai/bosai/sakurajima/bousaibook.html>

協力：鹿児島大学地域防災教育研究センター

この冊子は、桜島の火山灰とともに生きる鹿児島市の日常に目を向け、その魅力を私たち学生の視点で編みなおしたものです。実際に桜島を訪れ、道の駅や桜島ビジターセンター、アーティストの方々への取材を重ねるなかで、火山灰をうまく取り入れ、暮らしや表現と結

びつけながら「文化」へと昇華させてきた、鹿児島の人々の姿に惹かれていきました。この冊子を閉じたあと、灰のある風景が少しだけ違って見えていたら嬉しいです。本冊子を制作するにあたり、ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

